AreaCopa

areacopa.com/ja/blog/shonen-sakka-taikai-unei

少年サッカー大会の運営ワークブック

予算表、文例、役割カード、当日の判断表

このワークブックはareacopa.comが提供しています。

大会名	期日	大会責任者

3か月前：会場と基本方針

最初の案内を送る前に、この8つを決めます。

- [ ] 公式戦・リーグ戦・学校行事と重ならない日を選ぶ
- [ ] グラウンドの抽選や申込の時期を確認して申し込む
- [ ] 学年と試合形式を決める（JFAのガイドラインを目安に）
- [ ] 必要なコート数を決める（8チームなら2面が目安）
- [ ] 参加費を計算する：（費用＋予備費15%）÷チーム数
- [ ] 後援・協賛を頼む相手を決める（市、教育委員会、地元の企業）
- [ ] 参加チームに求める保険（スポーツ傷害保険）を決める
- [ ] 協会の承認が必要か、都道府県サッカー協会に確認する

2か月前：大会要項と審判

要項を送り、審判を決め、保護者への最初の連絡を出します。

- [ ] 大会要項をつくり、全チームに送る
- [ ] 審判の方法を決め、帯同審判の人数を要項に書く
- [ ] 保護者への連絡1（4週間前）を送る
- [ ] 申込を受け付け、チームごとの状況を記録する
- [ ] キャンセル待ちのチームを記録する
- [ ] 参加費の入金を確認し、締切の2週間前に一度案内する

予算表

費用を書き込み、予備費15%を足して、チーム数で割ります。

項目	金額（円）	メモ
会場使用料		
審判への謝礼・交通費（帯同審判なら0円）		
ボール・ビブス・マーカーなどの消耗品		
カップ・賞状・メダル		
参加賞（低学年）		
氷・スポーツドリンク・経口補水液		
救急用品		
印刷（対戦表・要項・賞状）		
小計		
＋予備費15%		

合計 ÷ チーム数 ＝ 1チームの参加費

後援・協賛のお願い（文例）

大会要項の案を添えて、手渡しかメールで送ります。

[団体名・会社名] ご担当者様

[クラブ名]は、[期日]に[会場]で、[学年]の少年サッカー大会「[大会名]」を開催します。[チーム数]チーム、約[人数]人の子どもたちと、指導者・保護者の参加を見込んでいます。

つきましては、本大会への[後援名義の使用／協賛]をお願いしたく、ご連絡いたしました。ご協力いただける場合は、大会要項と賞状にお名前を記載し、開会式でご紹介します。

ご協賛の内容は、[賞品（カップ・メダルなど）／金額]を想定しています。大会要項の案を同封いたします。

お手数ですが、[回答期限]までにご回答いただけますと幸いです。ご不明な点は[電話番号]または[メールアドレス]までお問い合わせください。

[クラブ名] 大会責任者　[氏名]

大会の案内文（文例）

1通にすべての条件を書き、締切は日付で示します。

各チーム代表者様

[クラブ名]では、[期日]に[会場]で「[大会名]」を開催します。対象は[年度]の[学年]以下、試合は[形式]（[試合時間]）で、コート[面数]面を使います。開始は[時刻]、終了は[時刻]の予定です。

参加費は1チーム[金額]円です。[当日受付で現金／[期限]までにお振込み]でお願いします。

各チームでご用意いただくもの：ユニフォーム2色、アップ用のボール、水筒、帯同審判[人数]名。大会側では試合球、本部テント、WBGT計を用意します。参加者がスポーツ傷害保険に加入していることを参加の条件とします。

申込締切は[〇月〇日（〇）]必着です。申込書を[メールアドレス]までお送りください。お問い合わせは[電話番号]までお願いします。

[クラブ名] 大会責任者　[氏名]

保護者への連絡1：4週間前

日程と会場だけを知らせる短い連絡です。

保護者の皆さま

[日付]に「[大会名]」（会場：[会場名、住所]）に参加します。集合は[時刻]、終了は[時刻]ごろの予定です。駐車場は[あり／なし：補足]です。

ご家族の予定を空けていただけますようお願いします。対戦表と持ち物は、大会の1週間前にお知らせします。

お子さまの体調やアレルギーなど、事前に伝えておきたいことがあれば、この連絡に返信してください。当日の当番についても、追ってご相談します。

[チーム名] [コーチ名]

保護者への連絡2：1週間前

対戦表、持ち物、集合場所を伝える本番の連絡です。

保護者の皆さま

[曜日]は大会当日です。集合は[時刻]に[場所]、最初の試合は[時刻]から、最後の試合は[時刻]ごろの予定です。対戦表は公開リンクで見られます：[URL]

持ち物：ユニフォーム（2色）、ストッキング、すね当て、スパイク、多めの水筒、帽子、タオル、着替え、昼食。

会場ではWBGTを測り、必要に応じてクーリングブレークや飲水タイムを入れます。飲み物は多めに持たせてください。

会場へのアクセス：[車の場合の注意]。公共交通機関の場合は[路線]の[駅]が最寄りです。

[チーム名] [コーチ名]

保護者への連絡3：2日前

3文だけの短い確認です。

皆さま

明後日[日付]は大会です。集合は[時刻]、[場所]です。

当日の連絡先は[電話番号]です。遅れる場合はこちらにご連絡ください。

天気予報：[内容]。雨・暑さ・雷のときは、[判断の時刻]までに[連絡方法]でお知らせします。

よろしくお願いします [コーチ名]

応援のマナー

保護者への連絡に入れ、当日は受付に掲示します。

- [ ] 応援は励ましの声だけにし、プレーの指示はコーチに任せる
- [ ] 審判の判定に文句を言わない
- [ ] 相手チームのよいプレーにも拍手をする
- [ ] 試合のあとは結果より、よかったプレーを聞く

審判のお願い（文例）

日時、試合数、謝礼を最初の連絡で伝えます。

[氏名] 様

[期日]に[会場]で、[学年]の少年サッカー大会「[大会名]」を開催します。第1試合は[時刻]、最後の試合は[時刻]ごろの予定で、[時間]時間ほどのご協力をお願いできればと考えております。

試合は[形式]で[試合数]試合、1試合[試合時間]分、コートは[面数]面です。謝礼は[金額]円、交通費は[金額／実費]を予定しています。昼食と飲み物は大会側で用意します。

[回答期限]までにお返事をいただけますと幸いです。ご不明な点は[電話番号]または[メールアドレス]までお問い合わせください。

よろしくお願いいたします [クラブ名] 大会責任者　[氏名]

競技方法の8項目

大会要項と一緒に送り、当日の監督会議で確認します。

1. **試合時間：** *例：10分ハーフ、ハーフタイム3分*

---

2. **交代：** *自由な交代か、ハーフタイムだけか*

---

3. **勝点と順位の決め方：** *例：勝点 → 得失点差 → 総得点 → 当該チーム同士 → 抽選*

---

4. **引き分けのとき（決勝トーナメント）：** *すぐPK（3人）か、延長戦のあとPKか*

---

5. **退場者の扱い：** *次の試合に出られるかどうか*

---

6. **遅刻・欠場：** *何分待つか、不戦敗のスコア（例：0対3）*

---

7. **暑さ対策：** *WBGTの測定時刻、クーリングブレーク、試合時間の短縮*

---

8. **雨・雷で中断したとき：** *終わった試合と、残りの試合の扱い*

備品チェックリスト：4つの分類

分類ごとに担当者を1人決めて集めます。

- [ ] 競技：試合球（小学生は4号球）を各コート3個、アップ用のボール、空気入れ
- [ ] 競技：2色のビブス、マーカーコーン、ゴールとネット、得点板
- [ ] 競技：審判ごとに笛と時計（ストップウォッチ）
- [ ] 運営：対戦表と競技方法を2部印刷、ホワイトボード、筆記用具
- [ ] 運営：スマートフォン、充電器、モバイルバッテリー、拡声器
- [ ] 暑さ・雨：WBGT計、ベンチを覆えるテント、氷、スポーツドリンク、経口補水液
- [ ] 暑さ・雨：雨具、タオル、熱中症に対応できる救急病院の連絡先
- [ ] 救護：救急箱、冷却スプレー、担架、AEDの場所と雷の避難場所の確認
- [ ] 救護：各チームの緊急連絡先の一覧、ミニゴールを固定する砂袋

役割カード

大会の前に配り、当日は運営スタッフ全員が同じ色のビブスを着ます。

大会本部（大会責任者）

- 開会式・閉会式とあいさつ
- 雨・暑さ・雷の最終判断
- チーム代表者の窓口
- 緊急連絡先の一覧を持つ

代理： 副責任者

記録・進行

- 結果を入力し順位表を更新
- 次の試合のチームを呼び出す
- 遅れが出たらすぐ全体に伝える
- 公開リンクが最新か確認する

代理： 休みのチームのコーチ

審判・コート

- 審判の割り当てを確認する
- 試合開始と終了の合図
- ボールとビブスを管理する
- 低学年はピッチマネージャーを担当

代理： 帯同審判の代表

会場設営・駐車場

- コート・テント・本部の設営
- 駐車場とトイレの案内
- 試合の合間にゴールの固定を確認
- 最後に撤収と清掃

代理： 保護者の当番

救護・暑さ対策

- WBGTを測って本部に伝える
- 氷と経口補水液を管理する
- ケガの応急手当
- 救急車の要請と保護者への連絡

代理： 各チームの帯同スタッフ

当日の判断表

6つの場面と答えを、大会本部に置いておきます。

勝点が並んだとき

大会要項に書いた順で決める。例：勝点 → 得失点差 → 総得点 → 当該チーム同士の対戦成績 → 抽選（またはPK）。

チームが来なかったとき

対戦表はそのままにし、そのチームの試合は要項どおり不戦敗（例：0対3）として扱う。

退場者が出たとき

次の試合に出られるかは要項どおり。要項にない場合は大会責任者が決め、全チームに同じ扱いを伝える。

頭を強く打ったとき

すぐにプレーを止めて様子を見る。意識がはっきりしない、吐き気がある場合は救急車（119番）を呼び、保護者に連絡する。

暑いとき（WBGT）

中学生以下：25以上は飲水タイムかクーリングブレーク、28以上はクーリングブレーク、31以上は中止・中断・延期（JFA熱中症対策ガイドライン）。

雷が鳴ったとき

すぐに中断し、車か鉄筋コンクリートの建物へ避難する。雷鳴・雷光が止んで30分以上たち、新しい雷雲がなければ再開する。

振り返りシート（翌週まで）

運営スタッフで30〜45分、8つの質問に答えます。

1. タイムテーブルは予定どおりに進んだか。遅れたなら、どの試合で、なぜか。

2. 集合と設営の時間は足りたか。

3. 負担が偏った役割はなかったか。人の名前で話す。

4. 保護者からの問い合わせは何件あったか。どの連絡が足りなかったか。

5. 当日の欠場は何チームあったか。空いた枠をどう埋めたか。

6. 暑さや雷の判断は迷わずにできたか。WBGTの記録は残っているか。

7. ケガはあったか。どこで、どの程度で、誰が対応したか。

8. 次の大会でやめること、必ず続けることは何か。